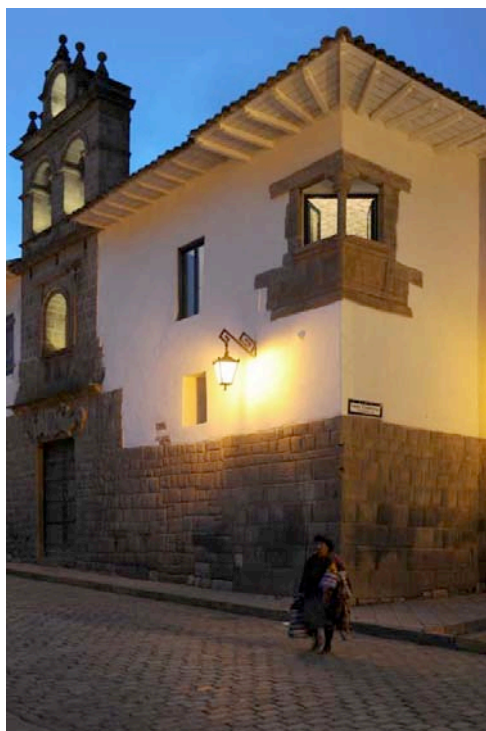


ORIENT-EXPRESS NEWS RELEASE

オリент・エクスプレス ペルーで6軒めのホテル パラシオ・ナザレナスを2012年6月にオープン

2011年6月



オリент・エクスプレスは壮大な最新のプロジェクト、パラシオ・ナザレナスを2012年初夏にオープンすることを決定いたしました。パラシオ・ナザレナスは、かつての宮殿と修道院を55部屋のスイートルームへと様変わりさせたペルー、クスコに位置するホテルです。ペルーで6番目となるこのオリент・エクスプレスのホテルの開業は、3年に渡り8人の専任考古学者、およびペルー国立文化機構（INC）の監督に基づき行われてきた改修プロジェクトの集大成と呼べるでしょう。

過去の歴史の中で、この建物には厳格で宗教的な規則に縛られた生活がありました。現代のパラシオ・ナザレナスでの滞在に最も当てはまらない言葉が「禁欲」かもしれません。この都会的リゾートでの滞在には、地元の職人による美しい内装の酸素供給式スイートルーム、オリジナルのプロダクトが揃うフルサービスのスパ、各客室には詳しい情報が掲載されたシティガイド入りのiPad、クスコ初の屋外スイミングプール、洞察力に満ちたツアー体験、そして一日中お楽しみいただけるアンデスのコンテンポラリー料理等を取り揃えています。

パラシオ・ナザレナスは、16のチカ・スイート、29のスイート、さらに9つのグランド・スイートと1つのナザレナス・スイートを設けた全室スイートルームのホテルで、多くの部屋には暖炉が備えられ、窓からはサクサイウアマンのインカ遺跡、またはクスコ市内のプラザ・デ・アルマスと大聖堂を望むことができます。広々としたバスルームには床暖房が施され、ペルー原産のトラバーチン大理石が用いられています。部屋のアメニティは、無料のWiFiサービス、滞在中にご利用いただけるクスコのシティガイド、新聞、映画、レストランガイド等の情報入りiPad、市内でご利用いただける携帯電話、エスプレッソマシン、ミニバーとBoseのサウンドシステムが完備されています。

クスコはアンデス山脈の中、海拔約3,350mの高地に位置しています。不眠や頭痛等の高山病症状を防ぐために、各スイートにはアンデスの花やハーブのアロマでかすかに香り付けをした酸素をたっぷりと部屋に供給する換気システムがあり、睡眠中にたくさんの酸素を血液中に取り込むことができます。



ゲストはペルーの古代文明や活気あふれる文化を探検し、さらにパラシオ・ナザレナスのスパで心も体も癒すことができます。スパにはシングル利用のトリートメント・ルームが4部屋、プライベートのホットタブを備えるダブル利用のトリートメント・ルーム1部屋が、受付のあるパティオ・スペースを囲むように建てられています。当スパではインカやアンデスの文化にインスパイアされたトリートメントを多数そろえ、アンデスのピンクソルトやブルーコーン（紫色のとうもろこし）、花、ハーブ、アボカド、コーヒー、ココアの葉等、ペルー原産の材料を使用しています。

知識の象徴であるヘビの彫刻に飾られた建物の外観に隠されているスペースは、パラシオ・ナザレナスの中心部分を成すエリアで、外部からは隔絶されている7つのテラスのうち最大の空間です。ここにはクスコ初となる7m×11mのインフィニティエッジの温水プールが作られています。プール脇には温室の屋根に守られたレストランがあり、オーガニックなアンデス料理をお楽しみいただけます。随所に設けられた静かなテラスには、聖なる谷やマチュピチュの段々畑や注水用水路を模倣し、それぞれこの土地に原生する植物やキッチンハーブが植えられ、噴水や水が流れ行く水路が設けられています。

オリエント・エクスプレス社がパラシオ・ナザレナスの利権を得た際、ここには1715年に建てられたスペイン植民地時代の建物が近代の建物と共に残存していました。改修プロジェクトは修復および新築の両作業を含み、18世紀の初代建物の特徴を残しつつ、近代の物はあえて初代のデザインに倣う新しい建築物へと生まれ変わらせました。水漆喰のアドービ煉瓦の壁、煉瓦のアーチ道、空のように鮮やかなコバルトブルーに塗られた木製のベランダやバルコニーが印象的です。

建築士、エンリケ・パラシオと彼のスタッフは建築プロセスの全てのステージに於いて細心の配慮をし、建物の歴史と伝統を守ることを重要視しました。重機を現場に持ち込むことは許されず、9,000立方メートルの土壌は全て手作業で掘り起こされ、遺跡を傷つけることの無いようにスプーンやブラシを用いて発掘作業を行い、18世紀に建てられた宮殿の基礎を修復したところ、インカ時代およびインカ時代以前の壁が発見され、客室の一部やパブリックスペースに利用されることになりました。改修作業中に発掘されたその他の遺跡や物品等もホテルの図書室に展示されます。

パラシオ・ナザレナスの内装はサンタフェのインテリアデザイナー、ジャンナ・ラパポートによりデザインされ、光や健康、クリエイティビティを意識した楽しく明るい空間がテーマです。ジャンナは最高の職人を求めてペルー中を探し回り、聖なる谷の町チンチェロの女性織工の集団や、ホテルのレセプションデスクを6ヶ月かけて彫ることが決定した木彫りのスペシャリスト、さらに改修工事で発見されたフレスコ画を再生するペルー最高の絵画修復の達人等に依頼しました。パラシオ・ナザレナスの入口である重厚な木の扉の左側には大きな礼拝堂があり、ゲスト用のラウンジとして生まれ変わる予定です。修道女たちがお菓子や切手等を売るために使用していた回転テーブルは保存され、さらにセニョール・デ・ワンカに捧げられた小さなチャペルは地元の人々の礼拝のために残されています。





パラシオ・ナザレナスは、ゲストに古代と現代のペルー・コミュニティーや文化に触れていただける体験の数々をご用意しています。敷地内のブティックでは高品質な現地の手工芸品を揃え、フェアトレードに準じた値段で販売されます。またペルーの新鋭芸術家やファッションデザイナーによる品々も取り揃えます。

「オリエント・エクスプレスは1999年よりペルーのホテルや列車を通し、極上のトラベル体験や冒険をお楽しみいただけるよう努めて来ました。このような投資を通じて、ペルーという国をさらに開発して行きたいと願う

私たちの気持ちの表れとして理解していただけたと思います。」と代表取締役社長兼最高責任者（CEO）、ポール・ホワイトはコメントしています。「パラシオ・ナザレナスの完成は当社とIN Cの考古学者達との緊密な協力関係のもとで生まれたものです。当社の前向きな貢献により、ペルーの歴史をこのような形で残していけることにとても満足しています。」

クスコは古代インカ帝国の首都であり、素晴らしい世界七不思議のひとつとして存在するマチュピチュ要塞遺跡への入口で、オリエント・エクスプレスの豪華列車、ハイラム・ビンガムに乗車し、聖なる谷を3時間ほど進んだところに位置しています。ヴェラスコ・アステテ空港より車でわずか15分ほどの距離で、ペルーの首都リマからは約1,000 km（飛行機で60分程度）です。

パラシオ・ナザレナスは、数々の賞を受け称賛されてきたホテル・モナステリオの姉妹ホテルです。ホテル・モナステリオは16世紀の修道院を126室のホテルに改築し、1999年3月よりオリエント・エクスプレス社が所有、経営しています。この2つのホテルはナザレナス・スクエアに位置し、クスコの大聖堂や美術館等で有名なプラザ・デ・アルマスやボヘミアンな雰囲気のあるサン・ブラス地域にも徒歩数分の恵まれたロケーションです。



パラシオ・ナザレナスのスイートは1泊US\$905よりご用意しています。料金には朝食、酸素供給式ベッドルーム、さらにパーソナルバトラーのサービスが含まれます。

パラシオ・ナザレナスのデビューまでの予定、詳細は www.palacionazarenas.com にてご覧ください。

日本での予約・問い合わせ：

オリエント・エクスプレス

フリーダイヤル 00531-650-508（一部のIP電話からはご利用いただけません）

ペルーにおけるオリエント・エクスプレスに関して

1999年3月、オリエント・エクスプレス・ホテルズはペルー・ホテルとジョイント・ベンチャーを組み、クスコにあるホテル・モナステリオとマチュピチュ・サンクチュアリー・ロッジを買収し、長期にわたる契約で、オリエント・エクスプレスが経営を担うことになりました。以降、オリエント・エクスプレスはリマにあるミラフローレス・パーク・プラザ、ウルバンバのリオ・サグラドを買収、また南ペルーにあるコルカ・キャニオンにラス・カシータス・デル・コルカを建設しました。1999年7月には、オリエント・エクスプレス・ホテルズとペルーバル・コーポレーションの所有する鉄道会社、ペルー・レールが、クスコ～プーノ（チチカカ湖）間のルートや、クスコ～マチュピチュ間の狭軌路線を含むペルー鉄道の南部ルートをも入手し、クスコ～マチュピチュの間は、現在豪華客車のハイラム・ビンガム号が運行されています。

オリエント・エクスプレスに関して

オリエント・エクスプレス (www.orient-express.com) の名称は、1983年に世界で最も贅沢でエキサイティングな列車の旅を提供した伝説の豪華列車が起源です。オリエント・エクスプレスは五大陸、24カ国で、ホテル、クルーズ、さらなる列車によるラグジュアリーな旅を提供しています。

同社は1976年にイタリア、ベニスに伝説のホテル・チプリアーニを購入時に誕生し、その後ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレスとしてロンドン、パリからベニスまで運行を開始し伝説の豪華列車の旅を蘇らせました。現在、オリエント・エクスプレスは50に及ぶビジネスを展開しています。

所有、または一部所有し運営する41のホテルは、南アフリカ、ケープタウンのマウント・ネルソン、ブラジル、リオのコパカバーナ・パレス、ロシア、サンクトペテルブルグのグランド・ホテル・ヨーロッパ、メキシコ、リビエラ・マヤのマローマ・リゾート&スパなど、世界の名だたるコレクションを所有しています。また、ニューヨークの伝説的なレストラン「21」、2つのリバークルーズ、6つの観光列車を展開しています。

オリエント・エクスプレスの詳細は、www.orient-express.co.jp でご覧いただけます。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
オリエント・エクスプレス PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

 twitter.com/LUXE_TRAVEL

